

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	地域高規格道路 神戸西バイパス 一般国道2号 神戸西バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：兵庫県神戸市垂水区名谷町 至：兵庫県明石市大久保町			延長	専用部 12.5km 一般部 8.4km
事業概要					
神戸西バイパスは、垂水JCTから阪神高速道路北神戸線と連結する永井谷JCTを経て、第二神明道路と連結する石ヶ谷JCTまでの延長12.5kmの地域高規格道路であり、東西の広域交通を分担し、臨海部での交通混雑を緩和するとともに、周辺地域の活性化、交通安全の確保、明石海峡大橋とその関連道路へのアクセス道路強化等を目的に計画された道路である。					
S63年度事業化	S62年度都市計画決定	H元年度用地着手		H3年度工事着手	
全体事業費	1,900億円	事業進捗率	約72%	供用済延長	専用部5.6km 一般部4.4km
計画交通量	24,500台／日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 4.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 369/2,447億円 (事業費： 336/2,387億円 維持管理費： 34/ 61億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,564/2,581億円 (走行時間短縮便益： 1,434/2,307億円 走行費用減少便益： 99/ 212億円 交通事故減少便益： 30/ 62億円)	基準年 平成22年	
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施					
交通量変動：B/C=4.7(交通量 +10%) B/C=3.8(交通量 -10%)					
事業費変動：B/C=4.1(事業費 +10%) B/C=4.9(事業費 -10%)					
事業期間変動：B/C=3.8(事業期間+20%) B/C=4.4(事業期間-20%)					
事業の効果等					
①交通混雑の緩和					
・部分供用により並行する第二神明道路では交通渋滞が減少しており、整備により交通混雑の緩和が期待できる。					
②交通安全の確保					
・未整備区間と並行する第二神明道路の死傷事故件数は、整備済区間の2倍以上でありその大半が渋滞に起因する追突事故であるが、整備により交通事故の減少が期待できる。					
③地域の活性化					
・神戸市西区では西神住宅団地、西神南ニュータウンの開発等により、今後も人口の増加が見込まれるが、整備により神戸市中心部へのアクセス性が向上し、地域の活性化に寄与すると期待される。					
④高度医療施設へのアクセス向上					
・三木市～兵庫県立災害医療センターへの所要時間が短縮。(60分→54分)					
⑤神戸空港へのアクセス向上					
・三木市～神戸空港への所要時間が短縮。(63分→57分)					
⑥神戸港へのアクセス向上					
・三木市～神戸港への所要時間が短縮。(55分→50分)					
⑦主要観光地へのアクセス向上					
・沿線へのアクセス性向上により、観光客の増加が見込まれる。 (王子動物園：観光客入込数：142万人/年、須磨海浜水族園：観光客入込数：137万人/年)					
関係する地方公共団体等の意見					
神戸市長の意見：					
・神戸西バイパスは、交通混雑が著しい神戸西部地域において、第二神明道路とともに東西の広域交通を分担する広域幹線道路である。					
・第二神明道路の交通渋滞を解消し神戸市都心部へのアクセスを向上させるためにも、事業を継続し、現在整備が行われている一般部を早期供用させるとともに、専用部についても早期延伸を図るべきと考える。					

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「国道2号神戸西バイパス」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

東播磨地域～神戸市間を東西に結ぶ主要道路2路線（国道2号・第二神明道路）の交通量の変化は横ばいであるが、依然として交通容量を超過。

事業の進捗状況、残事業の内容等

現在までに専用部5.6km、一般部4.4kmが供用済みであり、用地取得は約86%完了。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、一般部の早期供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、橋梁形式の見直しや新工法・新技術の活用等、コスト縮減に努める。

対応方針	事業継続
------	------

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

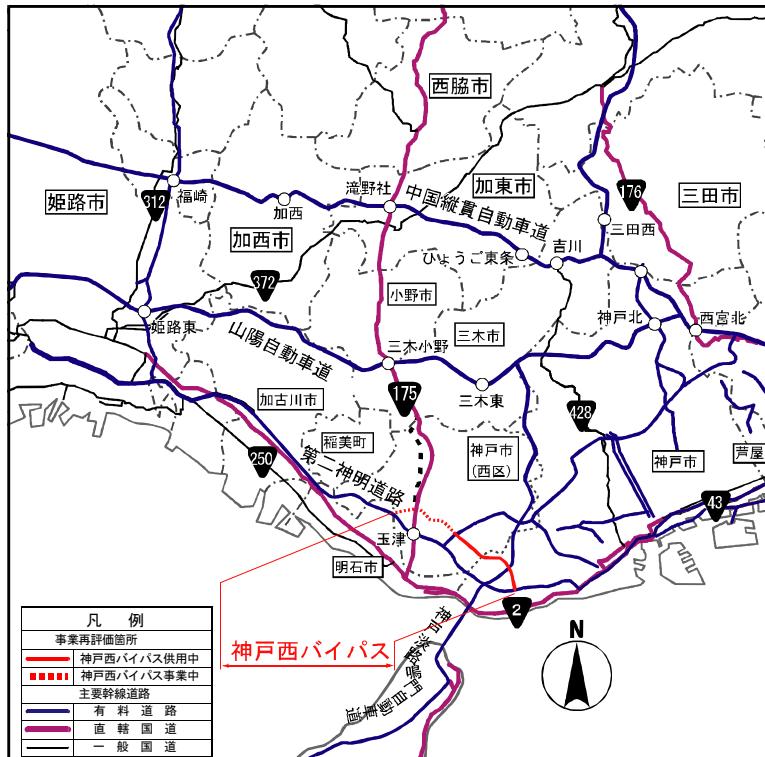
再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	地域高規格道路 神戸西バイパス 一般国道2号 神戸西バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：兵庫県神戸市垂水区名谷町 至：兵庫県明石市大久保町			延長	専用部 12.5km 一般部 8.4km

事業概要図

【位置図】



【概要図】

